

000000000
5月31日
(水)

チャレンジデーへのご参加 ありがとうございました

2017年チャレンジデー（対戦相手：伊勢原市）は、残念ながら惜敗となりました。ご協力いただきました住民の皆さまに感謝申し上げますと共に、今回取り組んだ運動を、習慣化していただくようお願い申し上げます。

結果	丸亀市	伊勢原市	飯山北地区
総人口	113,488	101,776	10,700
参加者	84,562	77,120	7,881
参加率	74.5%	75.8%	73.15%



000000000
7月13日
(木)

桃源郷学習講座

飯山北地域福祉研修会を開催

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」という演題で丸亀社協の高尾課長による福祉研修会が行われました。飯山北コミでは本年度、福祉活動を組織横断的連携で推進するため「桃の里地域福祉活動推進委員会」を設立し、各種事業に取り組んでいます。この研修会もその一環として行われました。当日は、高尾課長から丸亀市社会福祉協議会の概要についてのお話がありました。受講生達は、飯山北地区コミュニティ推進協議会も丸亀社協を構成する校区社会福祉協議会という組織であることを理解し、地域福祉は自分たちの身近な問題だということを確認しました。

また、福祉協力員制度・「情報♡ほっとメール」配信・丸亀市自立相談支援センター・生活福祉資金貸し付け事業・法人貢献事業等についても学ぶ事が出来ました。



ご案内 火災警報器は設置しましたか？

全国で、毎年住宅火災による死者が1000人を超えています。特に、その60%が65歳以上の高齢者であり、逃げ遅れによるものです。住宅火災警報器を設置することで、火災を早期に発見することができ、逃げ遅れを減らし、命を守ることができます。北コミュニティでは、共同購入を推進しています。

◆ 共同購入のメリット

- ① 大量購入することで、個人購入より安い価格で購入できる。（けむり当番薄型10年寿命）
今回は税込2,500円（年間250円のお守り代わり）
- ② 地域で購入することで、地域全体で安全安心なまちづくりにつながる
- ③ 悪質訪問販売等の防止対策となる。
- ④ 住宅火災警報器の交換時期も同じである。
- ⑤ 警報音や音声が同じなので近所の人でも気がつく

◆ あなたの家にはいくつ必要？

寝室の数+2階に寝室がある場合は、階段の設置個数です。お申し込みは、北コミュニティへ



この「とっと煮」は、丸亀市婦人会が、さぬききこどもの国で開催された「赤十字非常食炊出しコンテスト」に出品したもので、丸亀名物「骨付鳥」風の、ピリ辛鶏肉と季節の野菜の煮物です。

000000000
6月11日
(日)

生活環境部
「水口祭」見学

毎年行われる「水口祭」に初めて参加しました。

水口とは、田に水を引き込む入りの口で、池田ダム（徳島県）から延びる阿讃導水トンネルの出口にある東西分水工を水口に見立てて、神事を執り行っています。

神事では、祝詞奏上等に続き、用水路にお神酒を注ぎ、配水の安全や五穀豊穡、県民の暮らしを支える水の恵みを祈願しました。3本の水柱が勢いよく吹きあがると、詰めかけた大勢の来場者から大きな歓声が上がりました。



100年以上も前に香川水の必要性を訴えた財田町出身の偉人・大久保謙之丞の功績をたたえる財田鉞おどりや、財田町長野獅子などの披露がありました。改めて水の恵みに感謝した一日でした。

000000000
7月13日
(木)

「丸亀とっと煮」 作ってみました

婦人防火クラブ&婦人会

飯山北婦人防火クラブと婦人会は、耐熱ビニール袋を使用して作る非常食「とっと煮」と「非常用炊飯」を試作しました。

「とっと煮」は、袋に鶏肉・季節の野菜と調味料。「炊飯」は、袋に洗米・五穀米・麦・塩コブ（梅干し）・水を入れ、袋の空気をしっかりと抜いてから口を輪ゴムできつく縛り、沸騰したお湯で30分間煮るだけの簡単調理です。

出来栄や味を確認しながら、おいしく試食しました。